

# 山梨ライトハウス

第75号

発行/社会福祉法人 山梨ライトハウス 〒400-0064 甲府市下飯田2-10-1

TEL/055-222-3502 FAX/055-233-0124 URL <http://yamashashi-lighthouse.or.jp/>



山梨県盲人福祉センター(点字図書館)  
電話/055-222-3502-223-1113(貸出専用)  
青い鳥ホーム 電話/055-252-8994  
青い鳥成人寮 電話/055-224-5060  
青い鳥支援センター 電話/055-221-1260  
青い鳥老人ホーム 電話/0553-26-6631  
青い鳥ケアホーム 電話/055-235-5566



山梨ライトハウスの理念は  
「視覚障害者の未来を照らす  
光の道標となること」です。

## CONTENTS

バリアフリーらいふ	1	感謝状を贈呈	6
ライトハウスニュース	2・3	苦情等受付状況	7
今、福祉は…	4・5	お知らせ	
ボランティア紹介	6	成人寮作品展即売会	8

## 青い鳥奉仕団に支えられて

### バリアフリーらいふ

この四月から前所長 標照二の後任として所長に就任いたしました岡田千代子です。微力ではありますが、利用者のニーズに柔軟に応えられる情報提供施設を目指して努力してまいります。ご指導、ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

盲人福祉センターでは、視覚障害の皆さんの情報提供施設としてさまざまなサービスを提供しています。なかでも、図書館業務を重要な役割としています。

昭和二十九年、点字図書館開設当時の点字図書は、わずか千二十四冊ほど。それは、数名の奉仕者による製作から製本まですべて手作りの図書でした。当時の点字図書館は、盲学校に隣接していたので、毎日のように、本好きの盲学校の児童が新しい図書を求めて来館しにぎわっていたそうです。

センターの図書製作を支えているのは、今も変わらず、青い鳥奉仕団の皆さんです。昨年、青い鳥奉仕団は、結

成五十周年を迎えました。昭和四十一年に、四十数名でスタートした青い鳥点訳奉仕団も時を経て、青い鳥奉仕団と改称し、現在約二百七十名の団員を抱える大きな団体となり、盲人福祉センターの図書製作に多大な力を発揮しています。現在は、点訳部、音訳部、写本部に分かれ、種々の研修で専門性を磨き、質の高い図書製作に協力していただいています。

奉仕者の皆さんが、図書製作で一番苦勞するのが下調べです。特に、地名、人名については間違いが許されません。あらゆる辞書類を調べ尽くし、公共の図書館に出かけての検索やレファレンスを利用しながら、何か月も回答を待つことさえ少なくありません。一冊の図書を製作するまでには、数か月かかります。さらに、製作された図書は、一、二か月かけて校正されます。校正時間は、製作にかかる時間の約三倍ともいわれています。

製作者も校正者も、少しでも早く利用者の手元に図書が届くように限りの時間を割いています。ライトハウスで製作される図書は、多くの奉仕者の共同労力による貴重な賜物です。一冊

盲人福祉センター

所長 岡田 千代子

でも多く仕上げることに協力する奉仕者の姿は、今も昔も変わりません。まさに、青い鳥奉仕団は、奉仕の精神を携える人材の宝庫といっても過言ではありません。

青い鳥奉仕団に支えられて、今年も利用者の読書環境をより充実させていきたいと思ひます。今後とも、お力添えをよろしくお願ひいたします。



テキストデージー研修頑張っています。後列中央岡田所長

# ライトハウスニュース

## NEWS NEWS NEWS

### ● 盲人福祉センター ●

#### エレベーター点字表記確認

一月二十五日、北杜市小淵沢駅のホームに二基エレベーターが設置されるということで、エレベーターについている点字が正確に記載されているかを、ライトハウスの梶原事務員がひとつづつ確認をしました。後日、正確であることの証明書を首都圏ビルシステム工事部神奈川工事課に発行しました。



エレベーター内の点字を確認する梶原事務員

#### テキストデイジー指導者講習会

三月十七日(金)大阪玉水記念会館で行われた、テキストデイジー指導者研修会に参加してきました。

テキストデイジーと言っても、まだ耳慣れない方も多いと思います。テキストデイジーとは、活字による読書困難な方が文字を大きく拡大したり、合成音声の読み上げを聞いたりして利用できる図書のことです。



講習の様子



日本ライトハウス見学

山梨ライトハウスでも読書の幅が広がるよう、準備を進めております。音訳・点訳図書に続く図書としてご期待ください。

### ● 青い鳥ケアホーム ●

#### 地域清掃とお花見

青い鳥ケアホームでは、山梨鈴木助成金事業として平成二十七年に地域清掃事業に助成を頂きました。今年度も自主事業として、継続して地域清掃に取り組んでいます。

四月十五日のゴミ拾いは、桜のお花見も兼ねて荒川河川敷へと、ケアホーム利用者四名・短期利用者二名・職員二名で行きました。継続して実施している為、ゴミをつかむトングの使い方は皆さん慣れており、小さな吸殻も器用に拾い、ゴミ袋に入れていました。探してみると色々なゴミが落ちていたもので、ペットボトルや空き缶、紙くずなど、皆さん目を凝らしてゴミを探して拾ってくれました。また、犬の散歩中の方に「ご苦労様」と声をかけてもらったり、自転車で過ぎ行く学生が「こんにちは」と挨拶をしてくれて、皆さんのやる気も倍増です。

お昼になり、河川敷にシートを敷き、お楽しみのご飯の時間になりました。がんばってゴミを拾ったので、みんなで食べるお弁当やから揚げ、ポテトやサラダの味は格別でした。「お花見なんだから桜もみょうね」と言ううと皆で大笑いしました。帰りも、もちろんゴミを拾いながら帰りました。太陽が隠れ、少し風も出てきてしまいましたが、土手沿いの桜吹雪はとてきれいでした。帰りだからと手を抜くことなく、小さいゴミもしっかり拾いながらケアホームに戻り、とても充実した春の二日となりました。



真剣にゴミを拾います



荒川沿いの桜を見ながら...



沢山拾ってケアホームに到着!

お昼になり、河川敷にシートを敷き、お楽しみのご飯の時間になりました。がんばってゴミを拾ったので、みんなで食べるお弁当やから揚げ、ポテトやサラダの味は格別でした。「お花見なんだから桜もみょうね」と言ううと皆で大笑いしました。帰りも、もちろんゴミを拾いながら帰りました。太陽が隠れ、少し風も出てきてしまいましたが、土手沿いの桜吹雪はとてきれいでした。帰りだからと手を抜くことなく、小さいゴミもしっかり拾いながらケアホームに戻り、とても充実した春の二日となりました。

### ● 青い鳥支援センター ●

#### 味噌作り

青い鳥支援センターの目玉行事の一つに、保護者の皆様も一緒に体験できる「味噌作り体験」があります。昨年悪天候の為、開催できなかったのが「残念でした。今年こそはぜひ!!」のご意見も多く、担当の坂本相談員は、今年は雨天でも開催できるよう準備にも気合が入ります! 願いも届き晴天の中、行うことが出来ました。前日の準備や当日の流れなど慣れている参加者が多く、豆の煮出しや麹と混ぜる作業など手際良かったですね。各家庭五キロ、十キロ単位で手際よく樽に詰め、秋以降の出来栄が楽しみです。昼食の大鍋カレーづくり等、寒い季節の中でもワイワイと楽しくできました。



おいしくな〜れ



張り切る坂本相談員

40周年記念お祝い会

三月十九日常磐ホテルにて、青い鳥成人寮創立四十周年記念お祝い会を開催しました。利用者・保護者・来賓・職員総勢百二十二名で会食を兼ね、楽しい時間を過ごしました。

オープニングでは山梨学院のチャアリーダー・ダンス部ジャグリング部の学生さんによる軽快なパフォーマンスで利用者さんの皆さんは立ち上がり体を揺って楽しんでおり、盛大な幕開けとなりました。そして、利用者さんのはじめの言葉

では、時折言葉を詰まらせ涙声になりましたがしっかりと思いを伝える事が出来、感動の二コマでした。ヴァイオリンコンサートでは、生のヴァイオリンの音色を間近で聞く事が出来て皆さん喜びに満ちた顔で和やかな時間を過ごしました。



食べきれぬかな？

そして待ちにまつた会食。皆でコップを持ち乾杯！目の前には美味しい料理が並んでいます。ホテルの方からメニューの説明を受け皆さん頬張り、それぞれ「これなんだろうね」「食べた事ないよね」と次々と出てくる料理にびびくりしていました。そして、来賓の方々や利用者さん、職員への思い出インタビューです。マイクを向けると照れながらも楽しかった思い出や友達の話、家族の事をそれぞれ話してくれました。また、成人寮の一日の流れを職員が編集したDVD上映では、皆さんの生活の様子が良く分かる映像で、自分の姿が映ると手を叩き喜んでいました。フィナーレは「青い鳥」の歌を全員で唄って幕を閉じました。

これからも、五十周年、六十周年と歴史を積み重ねていきます。利用者さんの笑顔は昔も今も変わりません。こちらからもその笑顔を絶やさぬ様、スタッフ一同、力を合わせていきます。



こんな近くで弾いてもらいました



飯田先生、奥水先生に利用者さんからプレゼント



若さあふれるパフォーマンス

春の訪れ

春が来ました！老人ホームの春の訪れはいちご狩りから始まりです。インフルエンザの影響で外出を自粛していた老人ホームですが、三月末について外出を解禁しました。解禁後の初の行事はいちご狩りと決まっています。利用者二十七名は二日に分けて、今年も藤田農園さんに出掛けました。数種類のいちごが植えられており、丁寧に摘み取りながら、大きないちごや小粒のいちごを食べ比べました。「大きいのが甘かった」「小さくてもうんと甘い」「まだまだ食べるよ」等と楽しげな会話を飛び交わせながら、指先を赤く染めながらお腹いっぱい食べました。今年のいちご狩りも大盛況でした。



美味しいよ!

四月に入ると、ホームの中庭の桜もほころび始め、桜の開花に合わせてお花見を楽しみました。多くの利用者が散歩がてら参加し、厨房特製の甘酒を堪能しました。砂糖不使用の麹だけの甘さですが、その甘さに驚きの声が上がりました。



綺麗でしょ



ほうとうも熱々だよ

四月十三日には、二宮の「里の駅」で外食会を行いました。ホームの味とはまた違った食事とお菓子やパン等の買い物を楽しみました。

気持ちを合わせてハーモニ

♪ハローハロー  
今日も一日元気よく  
ハローハロー みんなで  
声をだしあつて  
明るい笑顔  
楽しい時間  
共に歌おう  
共に歌おう  
今日のうた♪



気持ちを合わせてハーモニ

水曜日の午後、青い鳥ホームを訪ねると、こんな楽しい歌声が聞こえてきます。月に二回、趣味の活動で岩下賀代先生に音楽の講師をお願いし、コーラスを楽しんでいます。岩下先生は普通校そして県立盲学校や支援学校で教職を務め、ホームの皆さんのように視覚に障害を持つ方への理解はもろろん、音楽指導者としても皆さんから慕われています。



岩下先生

岩下先生には青い鳥ホームの他、青い鳥成人寮の音楽講師としても永年に亘り利用者さんに音楽の楽しさを教えていただいています。

この歌は平成二十三年の初め、青い鳥ホームのテーマソングを作ろうということになり歌詞やメロディーをみんなで作って完成した曲だそうです。ホームの皆さんは、たとえ目は見えなくても歌う楽しさ、音楽の楽しさを岩下先生から教えていただいています。辛い時、悲しい時はこのメロディーを口ずさみ、患者さまのために毎日明るくマッサージを頑張っています。

二番  
♪ハローハロー ひとりひとりのうたごえに  
ハローハロー 気持ちをあわせ ハーモニ  
明日への希望 明るい未来  
共に歌おう 共に歌おう 今日のうた♪

## 山梨ライトハウス職員研修報告

平成二十九年二月十七日(金)、盲人福祉センター二階研修室において、山梨ライトハウス職員研修が行われました。山梨ライトハウスでは、職員の資質向上を目的として、毎年、各方面で活躍されている講師を招待し、研修会を開催しております。

今年、社会福祉法人ぶどうの里 名誉理事長、山梨学院大学・静岡英和大学講師、その他いくつかの役職を兼任されている、田ヶ谷雅夫先生をお招きし、「福祉のこころ」という演題にて、ご講演をいただきました。田ヶ谷先生は、県立育精福祉センター副所長、心身障害者更正施設そだち園園長等を歴任され、また福祉に関する本を多数出版されるなど、福祉界の第一線で活躍されております。

先生の講演を拝聴し、福祉「筋」で来られた先生の言葉の重みや説得力に、福祉の仕事に携わる一人として大きな感動を覚えました。講演の中で特に印象的だったのが「人権尊重とは、相手を奉る事ではなく、



田ヶ谷雅夫先生の講演

相手に直接ぶつかり、障害を軽減させる事だ。」という言葉であり、「入所者にとって本当の幸せとは何か？」という事を改めて考えさせられました。

した。

津久井やまゆり園事件における先生独自の見解の中で、障害者の人権尊重と発達可能性に対する加害者の知識不足、職員育成

に関する施設側の責任を指摘され、警備態勢を強化するだけではなく、「何故この様な事件が起きたのか？」を色々な視点で深く考えて欲しい。」との言葉がありました。また先生の結論として「『この子らに世の光をではなく、この子らを世の光にしよう。』と言う考えをもし加害者が持つていたら、この様な凄惨な事件は起こらなかつただろう。」という言葉に共感を覚えました。



職員一人ひとりに語りかけてくださいました

「福祉の仕事は、面白くて、やり甲斐があつて、人生を豊かなものにしてくれる。充実した仕事を精一杯エンジョイして下さい。」という先生の結びの言葉に多くの職員が励まされた事と思います。今回の講演は、「福祉のこころ」について、改めて考えさせられる有意義な時間であつたとともに、新たな気持ちで利用者と向き合える、きっかけを与えて下さつたと感じております。ご講演、ありがとうございました。

## 自費サービス始めました

青い鳥支援センター

○自費サービスとは

これからますます独居老人や高齢夫婦などの世帯が増え続けていきます。そのような方は身寄りが無い方も多く、現状の介護保険制度では満足は出来ず、生活が送れないケースも想定されます。「料理を作つて欲しい」「旅行や病院に付き添つて欲しい」といったご要望に応え、困っている人達を手助けするのは、社会福祉法人にとって大切な事だと思ひます。

そこで自費サービスとして、以下のサービスを、介護保険外でもご対応いたします。全額自己負担になります。(介護保険は原則一割負担)

○自費サービスの具体例

① 通院の付き添い(身体介護)

公共交通機関を使用し、通院の付き添いや薬の受け取りなど

② 入退院支援(生活援助)

入退院時の準備、入院中の必要な援助

③ 家事支援(生活援助)

調理、後片付け、掃除、洗濯、布団干しなど

④ 付き添い介助(身体介護)

散歩、行楽、観劇、映画鑑賞、冠婚葬祭など、外出時の付き添い介助

※サービスを受けるには、要支援、要介護、障害者手帳をお持ちの方に限ります。

その他、利用者様の要望に出来るだけ沿つていきたいと思ひますので、お気軽に青い鳥支援センターまでご連絡下さい。

電話〇五五二二二一〇八八〇

# 青い鳥の自費サービス

お気軽にご相談ください。

サービス内容

- ① 通院の付き添い
- ② 入退院支援
- ③ 家事支援
- ④ 外出などの付き添い

<p><b>利用料</b></p> <p>身体介護 3,500円(1時間) ①④</p> <p>生活援助 2,000円(1時間) ②③</p>	<p><b>対象者</b></p> <p>介護保険による要支援、要介護認定者</p> <p>障害支援区分認定者、障害者手帳をお持ちの方</p>
---	---

ヘルパーステーション青い鳥

TEL : 055-221-0880

受付時間 : 8:30~17:15  
甲府市下飯田 1-10-22

# 大地と、人と、つながろう H1プロジェクト始動!

木々の新緑が美しい季節となりました。

自然の中で土や緑に接することは、心穏やかに過ごす上でも良い効果があるようで、山梨ライトハウスの青い鳥成人寮では日中活動として畑作業に取り組んでいます。しかし、車での長時間に渡る移動や、畑での足場の悪さという点で、年々参加できる利用者さんが減ってきているのが現状でした。そんな時、青い鳥ケアホームの建築士である中込さんから「人と関わるのが好きな人、農業の技術を持った人、担い手のない農地、空き家などの地域資源を活用して、こども達が農業を通じてつながれる方法を模索している」とのお話がありました。時を同じくして、成人寮利用者の保護者の方より、成人寮からそう遠くない甲斐市敷島クラインガルテン近くの農地の提供を頂け、今までよりも気軽に畑へ通えるようになりました。



みんな頑張ります

そして三月二十九日、じゃがいもの種イモ植えを行いました。発起人の中込さん一家とのお仲間、成人寮の利用者、ライトハウスの職員やその家族など、下は六ヶ月の赤ちゃんから上はナイスミドル!?まで、総勢二十四名が集結しました。種イモを包丁で切る係り、灰をつける係り、植



じゃがいも楽しみだね

える係り、土をかける係りと、分担して自分を出ることをやり遂げました。また、利用者の皆さんは普段は接することのない赤ちゃんに「かわいいね」「いないないばあ」とあやしたりお世話をしてくれました。自分よりも弱い立場の人に接すると、自然に人は「自分がしつかりしよう」「守ってあげよう」と思うのでしょうか。

世代や障害の有無を超えたつながりの心地良さを感じた日となりました。中込さんとライトハウスは、この取り組みをハートランド(Heartland)プロジェクトと命名。今後、草取り&バーベキュー、じゃがいも収穫、大根の種植えとその収穫などのイベントを企画します。この活動にご興味ある方は、ぜひ、お気軽に成人寮までお問い合わせください。



また集まりました

<担当>  
山梨ライトハウス 有井  
<連絡先>  
甲府市下飯田2-10-1青い鳥成人寮  
TEL 055-224-5060  
メール aose0311@mx3.nns.ne.jp

# 駅ホーム転落防止の取り組み

青い鳥成人寮 副主任生活支援員(歩行訓練士) 金山佐保

平成二十九年一月四日、埼玉県のJR蔵駅で視覚に障害のある男性がホームに転落して亡くなりました。相次ぐ鉄道の駅ホーム転落事故を受けて、日本歩行訓練士会では三月二十六日に緊急意見交換会を開催し、日本盲人会連合や国土交通省主催の会議についてなどの情報共有、全国各地の歩行訓練士の取り組みについての報告が行われました。

それに先立ち山梨でも、二月二十二日にJR甲府駅の営業助役さん及びサービスマネージャーさんの二名と協議する機会を設けていただきました。そこで、JR東日本の視覚障害者の安全な鉄道利用についての取り組み、駅員の研修について教えていただき、歩行訓練士からは県内の視覚障害者の駅利用と白杖歩行等の訓練について情報共有をさせていただきました。三月からは甲府運輸区内各駅での

歩行訓練予定の日時の情報を毎月お知らせしており、訓練であることが分かりやすいように、歩行訓練士は腕に「歩行訓練中」の腕章をつけて訓練をさせていただいております。駅付近で訓練をしていると、マネージャーさんなどから「お疲れ様です。あの方のお手伝いは必要ですか?」というようにお声をいただきます。お手伝いは不要という方でも、駅員の方がしっかりと見守っておられました。

このような関係各所の皆様方との連携などの取り組みが、視覚障害のある方にとつて少しでも安全な鉄道利用につながるよう心から願っています。

あなたのひと声が  
目の見えない人の命を救います。

盲導犬の人、とまって! あぶない!

危険を感じたら、迷わず呼びかけて下さい。

とまって! あぶない!

事故になる直前の瞬間のみ、腕をつかんでもかまいません。

なにかおてつだいしましょうか?

と声をかけて下さいね。いきなり腕や杖をつかまないとお困りします。

この内容を一人でも多くの方に伝えていただければ幸いです。

ホーム転落をなくす会 <http://home/stopinrisk>

「ホーム転落をなくす会」作成のポスター

# ボランティア紹介

## 自己校正は私の課題

青い鳥奉仕団

点訳者 宮澤 越美



「自己校正をしつかりして！」と講習会で注意されます。この言葉は私にとって非常に耳の痛いことばです。初めて点訳をしたとき「誰かが直してくれる」と安易な気持ちだったことを、です。一巻で七から八ページもの校正がありました。理解できていないからこんなものかと変に納得して、そのうちには何とかなるだろうと自己弁護しておりました。何となく誘われるまま行事等に参加するようになると団員の皆さんの意欲的、積極性にびつくりして、これではいけないと思うようになり、点訳や校正にも取り組むようになりました。そしてこの気持ちの変化は自分自身の生活に対しても、良い結果をもたらしてくれたと思います。何事にもすぐに諦めていい加減な気持ちだったのですが、納得するまで辞書を引いたり、ネットで調べたり・・・。

先日手話ボランティアを長年されていた友人が大腸がんで亡くなりました。六十代になったばかりで、「まだまだやりたいことが沢山ある」と病気にもめげず積極的に社会参加しておりました。その

姿を見ていると病人ではない私が元気をもらえていた気がしておりました。そのことは自分自身を鼓舞するのに、また今後の生き方を決めるのに役立てることが彼女の冥福を祈ることにつながるのではないかと考えます。

この年になって孫の守は負担だと思っていきましたが、娘とともにやってきた孫の可愛いしぐさを見ると心が癒されます。こんな雑事をしながら点訳に打ち込むことが出来ることは幸せな事です。自分自身の生きがいとして始めた点訳で知事賞という褒美まで戴けて、ありがたいことです。これまでもよりもっと厳しく自己校正を心掛け、一冊でも多く点訳したいと思っております。

# 感謝状を贈呈

3月24日に開催された山梨ライトハウス役員会の席上、花形理事長より次の皆さまに感謝状並びに表彰状を贈りました。

- 一瀬寿恵子 様(点訳奉仕)
- 片山 賢爾 様(点訳奉仕)
- 深澤富美子 様(点訳奉仕)
- 佐藤 総 様(音訳奉仕)
- 志村 理恵 様(音訳奉仕)
- 名取 芳武 様(音訳奉仕)
- 川野 良子 様(ボランティアすみれの会)
- 中川 正治 様(寄付金)
- 中澤 好江 様(寄付金)
- 向山 武彦 様(寄付金)
- 清水加代子 様(十年勤続表彰)
- 植田 美穂 様(十年勤続表彰)
- 原 明美 様(十年勤続表彰)
- 細川 信吾 様(十年勤続表彰)



授賞者の皆さん



奉仕者の皆様の受賞



いきいき輝き賞

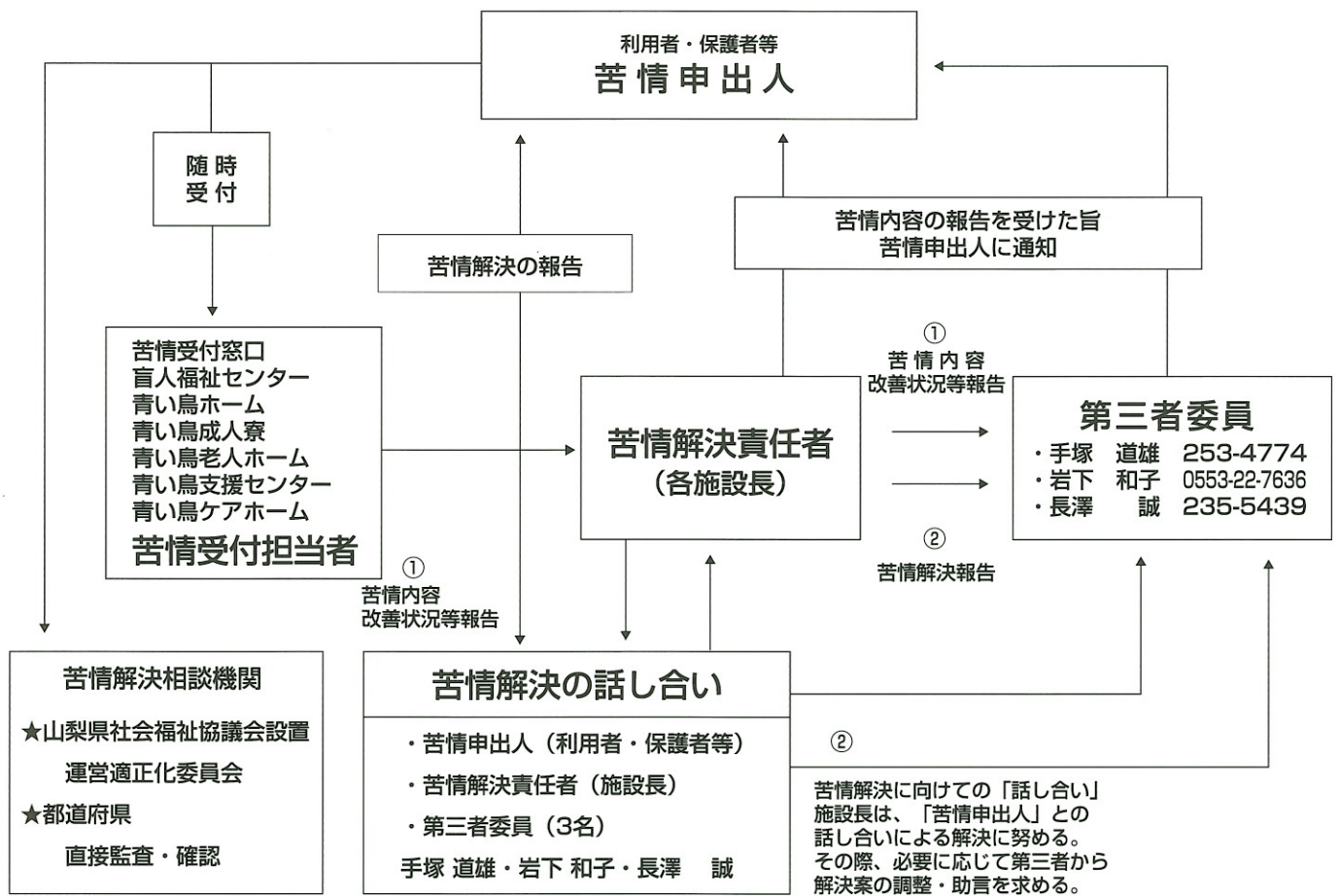
### 【いきいき輝き賞】

- 上野 秀利 様 (青い鳥成人寮)
- 佐野 英夫 様 (青い鳥老人ホーム)

# 平成28年度 苦情等受付状況

青い鳥成人寮……………苦情2件  
 青い鳥老人ホーム…要望2件 相談2件  
 いずれも、話し合いにより解決に至りました。

## 社会福祉法人山梨ライトハウスが提供する 福祉サービスに関する苦情解決のしくみ



### 川柳

(十二月のライトハウス川柳会から)

浅川 和多留 選

喜に感謝悲に祈りつつ生きて幸

井口 貞子

人生の波濤に勝って今の幸

加藤 隆

見てみると揺れて川辺の猫柳

河口 竹子

あの人もこの人も連れ沈丁花

中村 洋子

じれったい詰めめ言葉が浮ばない

細川 一

もう一度白杖を持たずに里の道

花形 幹雄

奨学金借りて返せぬ人が増え

高坂 康平

文通の友と語るは愚痴ばかり

今村 晴美

誇らしげ春よ春だとふきのとう

桑原 梅次

亡き母の手まで借りたい探し物

埜村 和美

馬の角探して歩く十日市

標 照二

## 防犯対策

青い鳥老人ホームでは非常通報装置と防犯カメラを、青い鳥成人寮では「平成28年度山梨県障害児(者)施設整備費補助金(防犯対策)」で1階北側に窓格子を、それぞれ設置しました。

## 職員募集

<青い鳥成人寮>

- ・生活支援員(正規・嘱託・パート)  
障害者の生活支援、作業活動支援など

<青い鳥ケアホーム>

- ・世話人(パート)  
PM3:30~PM8:30に、障害者グループホームでの料理や利用者の話し相手など

\*詳細はお問合せください。  
山梨ライトハウス法人事務局 櫻井  
TEL055-222-3502

## 第35回 長谷部賞が市瀬 實様に贈られる

市瀬様は、甲府市視覚障がい者協会理事を昭和44年度~昭和61年度及び平成11年度~現在。平成17年度~平成18年度は副会長、平成19年度~平成28年度までは会長として会活動を牽引し、会の発展に大きく貢献される等、多くの功績が認められたものです。

長谷部賞とは

視覚障害者福祉不毛の地といわれた山梨県に、道標となる灯台「山梨ライトハウス」を創設、「山梨県盲人会(現・山梨県視覚障がい者福祉協会)」「青い鳥奉仕団」の設立をするなど、本県の障害者福祉の向上と発展に半生を尽くされた、長谷部薫先生の功績を永く記念するため、本賞を創設しました。

本賞は、昭和58年より贈られていますが、永年にわたり視覚障害者の文化の向上と福祉の増進に尽力され、その功績が特に顕著な方に贈られますが、これまでに今回も含めて41名の方が受賞されています。

# 青い鳥成人寮 作品展示即売会

利用者の皆さんが日頃の作業で心をこめて作った陶芸品や手芸品などを展示、販売します。  
メンバーさんの一部と、作品を紹介します!

- 日時：平成29年7月21日(金) 12時~20時  
7月22日(土) 10時~20時  
7月23日(日) 10時~16時
- 場所：オギノリバーシティショッピングモール  
一階特設会場  
〒409-3845 山梨県中央市山之神1122



筒花瓶  
300円~



大皿  
1,000円~



壺  
1,000円~



小皿  
100円~

中皿  
700円~



うつわ  
400円~



私が  
つくったよ!

◎編集委員 細川純子、小畑栄一、関口なおみ、久保育枝、三枝俊子、清水隆英 ◎情報をお寄せ下さい。